

活動名	子ども食堂への寄贈食材・食品の提供促進スキームの構築		団体名称	特定非営利活動法人フードバンクかごしま
			活動テーマ	経済的困難を抱える子どもを支援する活動
			活動の目的	④子どもの居場所づくり
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果		■各スケジュールごとの活動内容
子ども食堂向けの食品の取り扱い等の手引きを作成し、一定水準での食材・食品の管理・運用できる体制を作ったことで、より安全に衛生的かつ正しく食材が目的通りの使用ができるようになった。		2017. 10～ 子ども食堂への食品提供に関する協議会開始 2017. 11～ 子ども食堂の現状視察 2018. 1～ 子ども食堂向け 食品の取り扱い等の手引き 作成		2017. 10～ 子ども食堂への食品提供を衛生的に正しく行うための協議会の設置 2017. 11～ 子ども食堂の現状を視察し、食材・食品の管理方法や利用者への提供方法を視察し、課題を抽出し課題解決を図る 2018. 1～ 子ども食堂向けの食品の取り扱い等の手引きを作成し、一定水準での食材・食品の管理・運用ができる体制を作る
■活動目標		子ども食堂からの支援ニーズを充足するために、フードバンクかごしまへの食材・食品の寄贈元企業が求める水準の管理・運用体制の整備を支援し、食材・食品の提供促進を図る。		
■長期成果		「子ども食堂」における寄贈食材・食品の管理・運用体制の整備が行われることで、寄贈食品の提供が促進され、子ども食堂にとって地域のより多くの子ども達の孤食の解決に繋げることができ、生活支援活動を一層拡大することができる。		
■活動風景				
				
<子ども食堂との協議会の様子>		<手引き作成に向けたワークショップ>		<子ども食堂の現地視察>
■得られた成果と今後の課題		■受益者や地域社会の変化		■得られたノウハウの共有・発信
<p>子ども食堂向けの食品の取り扱い等の手引きを作成し、一定水準での食材・食品の管理・運用できる体制を作ったことで、より安全に衛生的かつ正しく食材が目的通りの使用ができるようになった。</p> <p>今後の課題としては、鹿児島県内の子ども食堂が全て「経済的困難を抱える子どもを支援する活動」を目的としているわけではないので、手引きの活用について適用範囲を行政や企業、社会福祉協議会、地域のNPOなど多様な主体と協働しながら発展させていく必要があると感じた。</p>		<p>子ども食堂向けの食品の取り扱い等の手引きを作成し、一定水準での食材・食品の管理・運用できる体制を作ったことで、これまで子ども食堂への食品提供がNGだった食品関連企業が子ども食堂に対して一定の理解を得ることができ食品提供に繋げることができた。</p>		<p>子ども食堂は地域や活動規模によって、それぞれの目的や活動のコンセプトも様々であることが本事業を通じて得られたノウハウであり、全ての子ども食堂がいわゆる経済的困難を抱える子どもを支援する活動ではなく、地域コミュニティの活性化や主催者側の生きがいづくりの場であったりするので、「子ども食堂」という看板だけで子どもの貧困を解決する団体だと決め付けず、それぞれの子ども食堂の趣旨に合わせた支援のあり方や支援に関する運用ルール作りを多様な主体との協働によって発展させることが大事だと考える。</p>
〒 892-0831 (住所) 鹿児島市船津町 1-11 (団体名) 特定非営利活動法人フードバンクかごしま (ホームページ) : http://ksnk.org				助成金額 985,000円 助成期間 H29.9.1～H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。